

霧島

広報きりしま

12

December, 2011
VOL.134

Kirishima City Public Relations, Japan
2011.12.6発行 VOL.134

霧島
広報きりしま

特集 Special Feature 過疎地域の20年後、30年後を考える

霧島スタイル KIRISHIMA STYLE 元気な地域づくり



発行 / 〒899-4384 鹿児島県霧島市中央三丁目45-1 世 / 0995-45-5111(代)
ホームページ / URL http://www.city.kirishima.jp ■メールアドレス / E-mail info@city.kirishima.jp
編集 / 秘書広報課 世 / 0995-64-0955 FAX / 0995-64-0934 ■印刷 / 南国新聞社印刷



普通自動車 (オートマチック限定、屋間部) コース

総額 276,600円 (消費税込)

入学金 写真・適性検査	教習料 技能・学科	検定料 仮免許申請手数料 仮免許交付手数料 修了検定料・卒業検定料
-----------------------	---------------------	---

※上記は最短時間の料金です。技能教習が延長された場合と、検定不合格時に補習を受講する場合は1時間あたり4,900円が加算されます。
 ※修了検定不合格時には再検定料として3,100円/回、卒業検定不合格時には再検定料として4,200円/回が加算されます。
 ※仮免許学科試験に不合格の場合、再試験料2,000円/回が加算されます。※高速道路教習は実車走行にて行います。※普通自動車免許(マニュアルミッション)ご希望の場合は15,800円が加算されます。
 ※夜間(17:30~)割増料金は900円/時限です。学生(高校生、大学生)は無料です。
 ※原付免許をお持ちでない方で、原付講習を受講される場合は1,800円が加算されます。※入学後、途中で退学される場合は、未実施の技能教習料と学科教習料を払い戻しいたします。

お得! 2012年3月までに
普通自動車コースで入校した学生さんは
総額より**5,000円引き!**

更に! 2011年12月~2012年1月21日の期間中に
入校された学生さんに
マックカード **2,000円分贈呈!**
※カードのデザインは変更となる場合がございます。

¥ 提携信販会社によるローンがお使いになれます。
※事前に審査がございます。詳細についてはお問い合わせ下さい。

送迎バス無料(学校→当校→自宅)または(自宅→当校→自宅)
※道路の状況、その他環境により近隣の搭乗となる場合があります。

お問い合わせ・お申し込みは
鹿児島県公安委員会指定[技能試験免除]
空港自動車学校 TEL 0995-42-8583
鹿児島県霧島市隼人町内2352-1 空港自動車学校 検索





霧島スタイル
KIRISHIMA STYLE

元気な地域づくり

見守り、触れ合うことが地域を元気にする

併時からすると微増しています。現在市には84社の企業が立地し、高校や大学があるなど若い人が多いまちであり、天孫降臨神話や上野原縄文遺跡などがある歴史や文化が色濃く残るまちでもあります。また観光地でもあるため、毎年約650万人の観光客が訪れる交流人口の多いまちです。

その一方で、89ある地区自治公民館のうち、65歳以上の人口が50%を超える地区が6か所あり、市全体の高齢化率は22・22%となっています。今後高齢化が進むことは確実視されており、65歳以上の割合はさらに増えることが予想されます。

総務省が全国の過疎地域などの現状を調べるために平成22年に行った調査では、65歳以上の割合が50%以上の集落が15・5%（1万91か所）あり、10年以内に消滅してしまうと予想される集落が454か所ありました。高齢化や過疎化が進むと、地域社会には欠かせないコミュニティ機能が弱体化し、地域でできる活動が低下していきます。

そんな高齢化・過疎化が進む地域でも、住民同士が知恵を出し合い、協力して活性化を図っている地域がたくさんあります。今回は霧島市の地域特性を生かした、霧島市ならではの取り組みから、20年・30年後を見据えた活性化への可能性を探ります。

併時からすると微増しています。現在市には84社の企業が立地し、高校や大学があるなど若い人が多いまちであり、天孫降臨神話や上野原縄文遺跡などがある歴史や文化が色濃く残るまちでもあります。また観光地でもあるため、毎年約650万人の観光客が訪れる交流人口の多いまちです。

その一方で、89ある地区自治公民館のうち、65歳以上の人口が50%を超える地区が6か所あり、市全体の高齢化率は22・22%となっています。今後高齢化が進むことは確実視されており、65歳以上の割合はさらに増えることが予想されます。

総務省が全国の過疎地域などの現状を調べるために平成22年に行った調査では、65歳以上の割合が50%以上の集落が15・5%（1万91か所）あり、10年以内に消滅してしまうと予想される集落が454か所ありました。高齢化や過疎化が進むと、地域社会には欠かせないコミュニティ機能が弱体化し、地域でできる活動が低下していきます。

そんな高齢化・過疎化が進む地域でも、住民同士が知恵を出し合い、協力して活性化を図っている地域がたくさんあります。今回は霧島市の地域特性を生かした、霧島市ならではの取り組みから、20年・30年後を見据えた活性化への可能性を探ります。

霧島市の人口は12万7836人（10月1日現在）で、人口が減少傾向にある市町村が多い中、平成17年11月の合計

過疎地域の20年後、30年後を考える

急速に進む高齢化・過疎化の波。そんな状況に直面しながらも、知恵と協力で活性化に向けて取り組む地域があります。しかし、将来を見据えたとき、地域だけの力では不安もあります。そんな中、企業や学生、市民団体、市などと協力して活動する地域がありました。そこには、若者と地元住民の笑顔が広がっていました。



02 企業との交流

地元企業として 地域に貢献したい

横川町にあるアルバック鹿児島事業所には、現在約1000人の従業員が働いています。その従業員でつくるボランティア団体が今年1月に発足。同町山ヶ野地区のイベントや農作業などに参加して、地域と交流を深めています。

山ヶ野地区は約300年続いた山ヶ野金山があった場所で、全盛期には1万人を超える人が住んでいました。しかし、昭和28年の閉山後は過疎化が進み、現在では約150人が暮らす過疎地域となっています。

同地区では活性化に向けて平成14年からウォーキング大会を開催しています。金山の名残や石垣などが残る街並みに参加者からは好評を得ています。しかし、高齢化が進む中、住民だけではコースの管理や大会運営をすることは難しい状況で、横川の中学生や有志の方に協力をもらっています。そのことを知った(株)アルバック管理事務所長の窪田康夫さんが社内報でボランティア参加を呼びかけました。「地域に支えられている企業として何かしたい」と思いボランティアを呼びかけた



①地域内外の人が参加して盛り上がる佳例川地区運動会 ②お田植え祭で地域の子どもと市のCIRなどと一緒に田植えをする農援隊のみなさん ③福山町佳例川地区自治公民館長板元岩雄さん

01 学生との交流

学生の元気が地域の活力に

福山町佳例川地区は約170戸が暮らす地域で、そのうち52・5%が65歳以上です。高齢化・過疎化が進む地域ではありますが、地区自治公民館を中心に運動会などの地域行事の開催、道路や田畑の管理などを協力して行っています。それ以外にも、地元住民や出身者など40代から60代のメンバーで作る「佳例川を語る会」が地域と協力して活性化に取り組んでいます。

そんな佳例川で昨年、一つの試みがスタートしました。「農援隊」との交流です。農援隊は鹿児島大学農学部が学生が過疎化が進む地域に行き、農業や行事などに参加することで、地域社会への貢献と、学生の知識を活用する場になればと始まったボランティア活動です。

農援隊の受け入れは同地区自治公民館長の板元岩雄さんたちが地域に提案。そこには大きな狙いがありました。「学生にはただ手伝ってもらうことだけが目的ではなく、住民との交流を期待していました。私たちの地域は高齢化が進み、行事の縮小なども余儀なくされてきました。そこで学生の元気に触れ、住民の活力になればと思います」

その思いは的中しました。畑には学生と楽しそうに農作業する地域の方の姿がありました。昼食では、思いを込めて作った料理を、おいしそうに食べ



①地域の方の差し入れを、おいしそうに食べるアルバックのみなさん ②一緒に清掃作業する地域の方とボランティア参加者 ③若い人との会話に地域の方も話が弾む ④ボランティアに参加しているアルバック鹿児島事業所のみなさん(前列中央が窪田康夫さん)



INTERVIEW

佳例川は元気をもらえる場所

鹿児島大学「農援隊」
浦田千恵子さん
浦川直樹さん



農業体験とボランティア活動に興味があって農援隊に参加しました。過疎地域と聞くと最初はマイナスなイメージがありましたが、実際に行ってみると住民の方がとても明るく、自然にも癒やされて元気をもらえます。また参加するのが楽しみで、これからも続けていきたいです。

る学生を見てうれしそうにしている地域の方がいました。学生も住民の優しさ佳例川の魅力に触れ、毎回参加する人がいます。板元さんは「佳例川の風景に感動していた学生が多く、交流を通じて私たちが地元の魅力に改めて気付かされました。これからもお互いが相乗効果を高めるような交流を続けていきたいです」と期待しています。

夏に行われた佳例川の地域行事「お田植え祭」では、田んぼに放されたウナギを悪戦苦闘しながら捕まえる学生と、それを見て大きな声で笑う地域の方の姿がありました。

04

山村留学で交流

活性化のきっかけは 山村留学

霧島永水地区は山間部にあり、主な産業が畜産や農業などの集落です。近年、高齢化と過疎化が進み、子どもの数も減少。地元の永水小学校では多い時の4分の1にまで児童数が減りました。児童数の減少は学校のみならず地域への影響も大きく、活気が少しずつ失われていきました。そんな状況を打開するために、地元住民とPTAが一体となって山村留學里親制度実施委員会を平成3年に発足し、県内初の山村留學制度をスタートしました。

山村留學は、校区の枠を超えて通学する特認校とは違い、そこに暮らし、生活しながら学校に通う制度で、祖母が孫を預かる「孫もどし」と、親子で移住してもらう「家族留學」、そして地域の方が里親になり、地域外から子どもを預かる「里親留學」の3タイプがあります。中でも地域活性化に一番期待されていたのが里親留學。同実行委員会は地域の各家庭を回り、里親への理解と協力をお願いしました。そういった努力が実を結び、始めた当初の生徒数が54人だったのが平成12

年には81人にまで増えました。現在までに県内外や海外などから142人を受け入れています。同委員会会員で第一期生の里親となった木野田誠さんは「最初は戸惑いもありましたが、遠慮しないで自分の子どものように接しました。今でも子どもやその親とは親交があり、結婚式にも出席しました。山村留學を始めてから、地域みんなの子どもたちへの関心が高くなりました。永水で力を入れている食農教育にもたくさんの方が協力してくるなど、子どもたちを通して地域の一体感が強くなりました」と成果を喜びます。

活気が出てきた地域を、さらに活性化させようと木野田さんたちは平成10年に村づくり実行委員会を発足し、地域と協力してウォーキング大会などを開催。平成18年には地域の作物を販売するために、いろいろな団体と協力して物産館「百笑館」を建設し、その名の通り地域の方の笑顔が広がる憩いの場となっています。活性化のために始まった山村留學は、しっかりと地域に根付いています。



永水の地域行事「牧神相撲」では、子どもたちの相撲を地域の方が応援



永水村づくり実行委員会会長 木野田誠さん

※市内には、特認校制度や山村留學を実施している小中学校があります。詳しくは学校教育課学事グループ☎(42) 1116までお問い合わせください。



①霧島温泉駅では、たくさんの団体が清掃活動などを行っている ②土日などにはホームで観光列車「はやとの風」の乗客を歓迎 ③霧島温泉駅花のある駅実行委員会会長 中堀清哲さん

03

観光で交流

駅はみんなの 交流の場

牧園町にある霧島温泉駅。近くに霧島高校があることから高校生の通学や地域住民の交通手段として利用されています。かつては霧島温泉へ新婚旅行に訪れる観光客の利用も多く、霧島観光の玄関口としてにぎわいましたが、車社会へと移り変わり、観光客の利用は減っていました。しかし近年、肥薩線への関心が高まり、再び観光客の利用が増えていきます。

そんな観光客に気持ち良く駅を利用してもらい、地域の魅力を知ってもらおうと、霧島温泉駅地域振興会が中心となって特産市やウォーキング大会などを開催したり、住民の方が駅を清掃したりと、さまざまな活動を展開し好評を得ています。

中堀清哲さんが会長を務める「霧島温泉駅花のある駅実行委員会」も活動する団体の一つ。会員や地域住民、霧島高校生なども協力してホームなどに花を植えています。活動のきっかけとなったのが、平成9年に始まった龍馬ハネムーンウォークで同駅を利用し

て参加された方からの「駅が汚い」という指摘でした。駅を見に行くとごみが落ち、天井にはたくさんの穴が開いていました。「これではいけない」と中堀さんたちの活動が始まりました。

まずは駅の清掃に取り組み、平成12年からは花の植栽も始めました。中堀さんは「霧島温泉駅のプラットホームは肥薩線が一番長い。そこを花でいっぱいにして、無人駅で誰もいなくても花が観光客をおもてなしするような駅にしたいです。ごみを散らすような駅になりました。肥薩線は全国に誇れる路線です。これからもっと観光客が増えると思います。観光客の方が列車を降りた瞬間、霧島に来てよかったと思ってもらえるような駅になるように、これからも地域の方と協力して活動を続けていきたい」と意欲を燃やします。

観光客からの指摘で始まった清掃作業。今では作業を通じて地域間の交流が生まれ、住民と観光客との交流の場にもなっています。



地域の特性を生かした活性化

霧島市には、ふるさとへの思いと知恵を集結して活性化を図っている人たちがたくさんいます。しかし、高齢化や少子化、過疎化が進む地域が多くあります。今後、地域の活力をどのように高めていけばよいのでしょうか。

地域活性化の可能性

過疎化が進む集落の対策を検討するために、市が平成20年度から2年間設置した「霧島市元気なふるさと再生委員会」の委員長で、志学館大学教授の有馬純春さんに地域の現状について話を聞きました。

「協力し合って活性化に向けて頑張っている地域がたくさんあります。しかし、高齢化が進む中、20年、30年後を考えた時に、どうしても若い人の力が必要になってきます。でも、利便性などから市街地周辺での暮らしを求めている人が多く、市街地から離れた田舎で暮らしたいという若者はあまりいません。若者をどうやって地域に呼べるか、それが高齢化・過疎化が進む中で地域活性化を図るためには特に必要になってきます」

霧島市でも過疎地域に暮らす方の多くが高齢者です。そこにどうやって若

雨の中、清掃作業に参加した佳例川地区のみなさんと農援隊（前列）



い人を呼ばばいいのでしょうか。有馬さんは、興味深い指摘をします。

「若者の中には、受け継がれてきた歴史や文化、自然、そして人など、集落独自の魅力に興味を持つ人が多くいます。以前、学生を地域活動に参加させたとき、地域の魅力に触れ、また参加したいとみんな話していました。そこにある魅力を情報発信し、まち全体がその情報を共有することで地域と若者の交流が生まれます。そのためにも、行政などがその仲立ちに加わることも重要です」

地域の魅力に興味を持つ人がたくさんいる。確かにボランティアに参加している農援隊の学生やアルバイトの社員の方で、活動に参加することが楽しみと話す人が多くいました。地域と若者の交流のきっかけは、すぐ近くにあるのかもしれない。

見守り、触れ合うこと

今後、霧島市では過疎地域の活性化をどのように図っていけば良いのでしょうか。有馬さんは今回紹介した活動に注目していました。

「霧島市には多くの企業があり、高校や大学もあるなど、若い人がたくさ

にいるまちです。企業や学校などと協力して活性化を図っている佳例川や山ケ野などの取り組みは、霧島市の地域特性があるからこそできるスタイル。こういった取り組みを継続的に続けることで、地域への関心が高まり、見守る心が生まれ、地域との絆になります。今はお金があって便利な生活よりも、心が豊かな生活へと若者の価値観が変わってきています。田舎が持つ魅力に気づき、住んでみたいと思う若者が増えるかもしれません」

今回紹介した地域では、たくさんの方の笑顔が広がっていました。過疎地域の活性化には、多くの問題があります。しかしあの笑顔がある限り、地域の可能性に限界はないのかもしれない。高齢化の進む地域の活動に参加したい個人・団体や受け入れを希望される地域の方はお問い合わせください。

◎問 共生協働推進課 ☎(64)0988



志学館大学教授 有馬純春さん



全国お茶まつり 大会で霧島茶をPR

第65回全国お茶まつり鹿児島大会in霧島が11月12・13日、霧島市役所周辺で開催されました。霧島市民会館であった式典には全国の茶業関係者が出席し、全国茶品評会の表彰がありました。普通煎茶30^{キログラム}の部で最高賞の農林水産大臣賞を受賞した有村幸二さんと、産地賞を受賞した霧島市にもそれぞれ表彰状が贈られました。イベント会場では品評会出品茶の展示、全国のお茶の試飲・販売、お茶手もみ体験などお茶に関するコーナーのほか、霧島市の特産品販売やステージイベントなどがあり、多くの来場者でにぎわいました。



ミュージカルで 霧島の魅力を

きりしま創造舞台の市民参加型オリジナルミュージカル「ひかるの夏〜龍馬からの伝言〜」アンコール公演が11月20日、霧島市民会館で昼夜2回行われました。ミュージカルは77人の霧島市民が出演し当日は約1,300人の観客が訪れました。物語は2011年の夏、霧島市を舞台に繰り広げられ、タイムスリップし、さまざまな歴史的瞬間に遭遇するという物語。一人一人の思いが詰まった、涙あり笑いありの舞台で会場は感動につつまれました。また市内外のスポンサー企業の支援により市内小中高校生の約1,000人が招待されました。



地球温暖化 防止のために

かごしま緑のカーテン&ピオトープコンテスト表彰式が11月19日、県民交流センターで行われ国分中央高校園芸工学科が緑のカーテン部門団体の部で、特別賞を受賞しました。市では21年度から「緑のカーテン」のモデル事業を実施し、同校で生徒が育苗したものを1グループにつきゴーヤ苗4株・ヘチマ苗2株の計6株を配布したり、苗の育て方の説明会をしたりしました。またひまわり幼稚園で出前授業を行いクイズ形式で種の形の違いの説明などを行い専門研修の学習成果を地域へ還元したということで賞を受賞しました。



にぎわった 嘉例川駅まつり

かれい川山里の恵みと森のおまつりが11月13日、嘉例川駅前広場でありました。これは地域活性化のために8年前から行われているイベントです。今回は中福良小学校児童の演奏やそば打ち体験など大勢の人でにぎわい、中でも今年4歳になるポニーの「まおちゃん」の馬踊りは大きな歓声が上がりました。嘉例川地区活性化推進委員会会長の山木由美子さんは「このイベントは販売することが目的ではなく、お客さまと一体となって体験することを目指しています。これからも地域活性化のために頑張ります」と話していました。

(日当山中・水泳)、日当山中水泳部、桑代啓太(国分中央高校・陸上)、国分中央高校なぎなた部、井関凌大(国分高校・水泳)、内村沙奈江(国分高校・水泳)、山下真名美(国分高校・水泳)、下村世連(鹿児島第一高校・空手道)、米満光(鹿児島高校・ソフトテニス)、日高大貴(鹿児島高校・ソフトテニス)、徳田はな(鹿児島女子高校・陸上)、立山優惟(鹿児島女子高校・陸上)、山下千佳(鹿児島女子高校・バドミントン)、本村優華(川薩清修館高校・陸上)、鹿児島工業高等学校サッカー部、鹿児島工業高等学校ソフトテニス部、スジェリ・ステイブン(第一工業大学・陸上)、第一工業大学野球部、山元梨

香(鹿児島大学大学院・美術展)、鹿児島第一医療リハビリ専門学校ソフトボール部、宍野寛(美術展)、白倉優香(空手道)、ちあふる(女子ハンドボール)、有村幸二(普通煎茶30^{キログラム})、徳重利幸(普通煎茶30^{キログラム})、有村拓矢(普通煎茶30^{キログラム})、藏園孝博(普通煎茶30^{キログラム})、福永洋一(普通煎茶30^{キログラム})、有村和幸(普通煎茶30^{キログラム})、坂口博三(普通煎茶30^{キログラム})、松山茂樹(普通煎茶30^{キログラム})、福永博明(かぶせ茶)、今吉耕己(かぶせ茶)、

福永義和(かぶせ茶) (株)ローソン九州ローソン支社



国分中学校サッカー部
キャプテン
3年 内屋 椋佑さん

8月18日から23日まで滋賀県で行われた第42回全国中学校サッカー大会で3位となり、このような素晴らしい賞をもらうことができました。これはチームのみんなと一丸となって、頑張った成果だと思います。僕は来年の7月には岐阜県で行われる国民体育大会に鹿児島県代表として出場する予定なので、精いっぱい頑張ります。



①霧島中学校吹奏楽部の演奏 ②表彰される上小川バレースポーツ少年団 ③表彰される林さん ④会場にはたくさんの表彰者



CIVIC NEWS

功績と成績の栄光を称え 個人・団体を表彰

霧島市発展のために尽力された功績と
優秀な成績を取めた方に

長年、各分野で霧島市発展のために尽力された方と、平成22・23年に各種スポーツ大会などで優秀な成績を取めた人を表彰する霧島市民表彰式が11月6日、国分シビックセンター1多目的ホールで行われ

ました。式では68人の個人と16の団体、4つの企業の表彰などを行いました。功績では地域医療や福祉の向上、地域経済に貢献された方。永年勤続では、民生委員や保護司、自治会長などを表彰。成績優秀ではスポーツ大会などで感動と希望を与える優秀な成績を取めた方や、8月に開催された第65回全国茶品評会で、素晴らしい成績を取めた方の表彰を行いました。また、新燃岳噴火の支援のために各店舗に義援金箱を設置し、復興のためにご尽力いただいた(株)ローソンに感謝状の贈呈を行いました。

市民表彰受賞者(敬称略)

- 功績
 - 保健福祉部門 林紘一、濱田鉄郎、森原和久、吉牟田直
 - 産業経済部門 II マイクロカット(株)、(株)九州タブチ、(株)藤田ワークス
 - 永年勤続
 - 教育文化スポーツ部門 II 谷口拓郎、福島茂
 - 保健福祉部門 II 川崎正博、

成績優秀

- 成績優秀
 - 上小川バレースポーツ少年団、田實壮真(大田小・陸上)、高橋李生(国分中・陸上)、戸越正孝(国分中・陸上)、国分中サッカー部、脇園樹(国分南中・水泳)、今村菜々子(国分南中・空手道)、上迫治希(舞鶴中・柔道)、高吉俊章(舞鶴中・柔道)、青柳麗美(舞鶴中・柔道)、舞鶴中男子柔道部、舞鶴中女子柔道部、舞鶴中女子ハンドボール部、陵南中弓道部、富尾史奈(牧園中・図画作品)、霧島中吹奏楽部、森奈津美(隼人中・陸上)、隼人中男子ハンドボール部、阪元祐太(日当山中・水泳)、五十嵐陽美(日当山中・水泳)、山下智恵美

- 産業経済部門 II 中村博美
- 社会活動部門 II 小濱正春、久保正良、篠崎博美、鶴田徹、米森義和、中深迫悟、井上弘、黒葛原富夫、久保昭男、高貝隆、小川守、岩倉親行、中村哲朗、田中瑞穂、平野正弘、福丸和己、宮路敦



知っているようで知らない
図書館のはなし

霧島市には7つの図書館(室)があり、市内在住の方はもちろん、通勤・通学されている方も本を借りることができます。お近くの図書館(室)で、ほかの6つの図書館(室)の本を借りたり、返したりすることもできます。



国分図書館の雑誌コーナー

市内にない場合は、県立図書館などから借り受けることもできます。「活字は苦手…」という方にお勧めなのは、ファッシュョン雑誌をはじめとするさまざまな雑誌です。バックナンバーの貸し出しも行っています。図書館に行かなくても、本の検索や予約ができる図書館のホームページや携帯サイトもとても便利です。図書館で本や資料の探し方がわからないときは、図書館員がお手伝いしますので、声をかけてください。図書館の利用の仕方は無限大。あなたに合った利用方法で図書館を楽しんでください。※ホームページで本の検索・予約ができるのは、国分・隼人図書館所蔵の本のみ。予約にはパスワード発行が必要ですので、窓口申請してください。



ホームページの検索画面



たくさんの本に囲まれた空間

寒い冬。読書で心を温めよう

「おはなし王国inみぞべ」
●日時=12月23日(金)午前9時30分~10時30分
●場所=みぞめ館 2階和室
●内容=ボランティアグループなどによる読み聞かせほか
◎問=溝辺図書館 ☎(58)3191



編み地を楽しむリストウォーマー 林 ことみ 作
すべり目を使ったジラフ柄、青海波のようなレース柄、カラフルな水玉が弾むボルカドット、シャープなジグザグ柄など、さまざまな編み地で作るリストウォーマーを紹介。

【チェインギャングは忘れない】横関 大、【放蕩記】村山由佳、【さざなみの国】勝山海百合、【ヒア・カムズ・ザ・サン】有川 浩、【蛍の航跡 軍医たちの黙示録】帚木蓬生、【これでおしまい 我が老後】佐藤愛子、【ヒート】堂場瞬一、【ホテル・ピーベリー】近藤史恵、【じゃがいも、玉ねぎ、にんじんさえあれば! 73品】荻野恭子、【みずいろのマフラー】松成真理子、【みんなで!いえをたてる】鈴木まもる、【のら犬ホットドッグ大かつやく】シャーロット・ブライ、【あやかしファンタジア】齊藤 洋



年末年始休館のお知らせ
12月29日(木)から1月3日(火)まで休館します。

- 国分図書館 ☎(64)0918
- 隼人図書館 ☎(43)7574
- 溝辺図書館 ☎(58)3191
- 横川図書館 ☎(72)1596
- 牧園図書館 ☎(78)3349
- 霧島図書館 ☎(57)0316
- 福山図書館 ☎(56)2026

イベント名	日時[対象]	場所/問い合わせ先
幼児と小学生のためのおはなしの部屋(りんごの木)	1月7日(土) 10:30~11:30	国分図書館
ほととの森おはなし会	12月10日(土)・24(土)、1月14日(土)・28日(土) 14:00~14:30	
おはなしの部屋	12月18日(日) 11:00~11:40(幼児・小学生)・クリスマス会 1月5日(木) 16:00~16:30(幼児) 1月6日(金) 11:00~11:30(赤ちゃん)	隼人図書館
語りの部屋(語りの会あもり)	1月8日(日) 11:00~11:40	
おはなし会(おはなしの会「さんぽ道」)	12月17日(土)、1月21日(土) 14:00~15:00	横川図書室
えほん・わらべうたのへや(紙ふうせん)	12月14日(水)、1月11日(水) 10:30~11:30	霧島図書室
お話の時間(紙ふうせん)	12月19日(月) 15:30~16:30	

良し

霧島の風味を楽しみませんか。

お正月を彩る「おせち料理」。もともと、おせち料理は季節の変わり目とされる「節」に神様に供え物をして、うたげを開くという行事で用いられていた料理。いつしか一般家庭の間でも、お正月のおせち料理として食べられるようになりました。そんな、おせち料理に深い思い出がある牧園町高千穂地区の弓削眞智子さん。佐賀県出身で若いころ霧島町の祖母の家に引っ越してきた弓削さんは、その後夫の昭雄さんと出会い結婚。

新たな家族で迎えた初めての正月は、義母の正子さんが作ったおせち料理がテーブルに並びました。たくさんのごちそうの中で驚いたのがピーナツの入った煮物。「とても素朴で義母の人柄を表わすような優しい味でした」と話します。

その正子さんも今では90歳。弓削さんは、正子さんから教えてもらった料理だけでなく、ゴボウに牛肉を巻いた牛肉巻きなど新しい料理にも挑戦。おせち料理のレパートリーを増やしていききました。3人の子宝に恵まれ、そのうち2人は



思いが詰まった「おせち料理」

女の子。「子どもたちは、それぞれ家庭を持ちましたが、正月になるとピーナツの入った煮物を自分たちで作り、その写真携帯電話のメールで送ってきてくれました。子どもたちには一度も教えたことがなかったので本当にびっくりしまし

た」とうれしそうに話します。親から子へそして子から孫へ、今回作った、おせち料理などの食が伝承されるように弓削さんは願っています。おせち料理には、受け継がれた思いがぎゅっと詰まっています。



◎牧園町高千穂 弓削眞智子さん(59)

レシビ ◎ピーナツ入り煮物(4~5人分)

【材 料】ダイコン1本、レンコン100g、サトイモ300g、ゴボウ200g、ニンジン(花形用)50g、タケノコ200g、生シイタケ5枚、コンニャク1枚、あげ2枚、鶏肉300g、生ピーナツ200g、出し汁(乾シイタケ3枚、出しコンブ30g)、薄口しょうゆ(大5)、砂糖(少々)、みりん(少々)

【作り方】①野菜類は5センチの長さで、大きさはできるだけ同じくらいにそろえます。
②野菜・鶏肉・あげを鍋に堅いものから先に入れ、出し汁を入れます。(ひたひたに)
③柔らかくなったら、しょうゆ・砂糖・みりんを味を調えます。
④お重に出来上がった煮ものを入れ、最後にニンジンの花形をゆでてから飾ります。



深く大きな愛情で牛を育てる

午前5時30分。しんと寒い朝。日の出を待つ空はまだ暗く、牧場の明かりだけが帯を照らしています。

「牛は私にとって家族同然です」と言っただけで数倍大きな牛を慣れた手つきでなでる最勝寺秀美さん。牧場を経営し、50数頭のホルスタイン牛を飼う酪農家です。

10月29日、始良郡中央家畜市場で鹿児島県ホルスタイン共進会が開催されました。これは、県内各地区の予選を突破した品質のいいホルスタイン牛を体格や性質、歩き方、乳房の形などで審査し、順位を決める大会。最勝寺さんの育てる牛が、霧島市で初めて未経産牛（出産したことのない牛）の最高位、グランドチャンピオンになりました。また、今年7月には生乳の成分などで競われる鹿児島県乳質向上コンクールでも最勝寺さんが個人総合の最優秀賞を受賞しています。

酪農家の父の背中を見て育った最勝寺さんは、自然と後を継ぎ酪農家になりました。

日常の仕事は、牛舎の清掃、牛の健康管理、餌やり、乳しぼりなど。妻の秀子さん（59）と従業員の野崎真理さん

（31）の3人で、朝5時半から作業を始めます。牛は一日に何十回もふんをするため、30分もある広い牛舎を何度も繰り返して掃除。良質な乳を出してもらうためには餌づくりも大切で、トウモロコシや乾草、穀物類の配合を考えて大量の餌を作ります。乳しぼりは一日2回、牛舎内に走るパイプラインと牛の乳房を搾乳機でつなぎ、しぼります。体力的にきつい仕事ばかりですが、牧場には3人の笑い声と牛の鳴き声が毎日響いています。

「大変ですけれどよく言われますが、大変だと思っただけは一度もありません。確かに、牛はとても神経質な生き物で、一日でも乳をしぼらなかつたり、掃除をしなかつたりすると病気になるってします。できるだけ牛にリラックスしてもらおうと、牛舎にはモーターの曲を流し、ストレスを与えることのないように気を付けています。年中無休で家族旅行もできない仕事ですが、牛と会話をしながら過ごす日常が好きなんです」と最勝寺さんは楽しそうに話します。

いつも明るい最勝寺家ですが、そんな家族にも数年前、苦悩の日々がありました。輸入飼料の価格が上がり、赤字経営

が続いたときです。最勝寺さんは「妻と二人で家財を売り、生活を切りつめて、とにかく牛を守ろうと必死でした。ぎりの生活をしながらも、牛に対して手を抜くことはなかったし、酪農をやめようとも思いませんでした」と当時を振り返ります。

その時を知る野崎さんは「いい時も悪い時も、常に牛に愛情をかけて育てることの大切さを学びました」と話します。今は乳価が上がり、経営も安定している最勝寺牧場。今回の受賞について「特別なことは何もしていませんが、牛と私たちの日々が認められたようでうれしいです。苦しい時期の私たちの頑張り

に牛が応えてくれたようにも感じています。これからも自然あふれる環境のなかで、牛のんびりと過ごすことができるように、家族同様の愛情を注いで育てていきたい。それが良質な乳を出すことにもつながります」と笑顔で話していました。

牛乳にはタンパク質やカルシウムなどたくさん栄養素が含まれています。そしてそこにはもう一つ、酪農家の深い愛情が詰まっているのです。

Profile

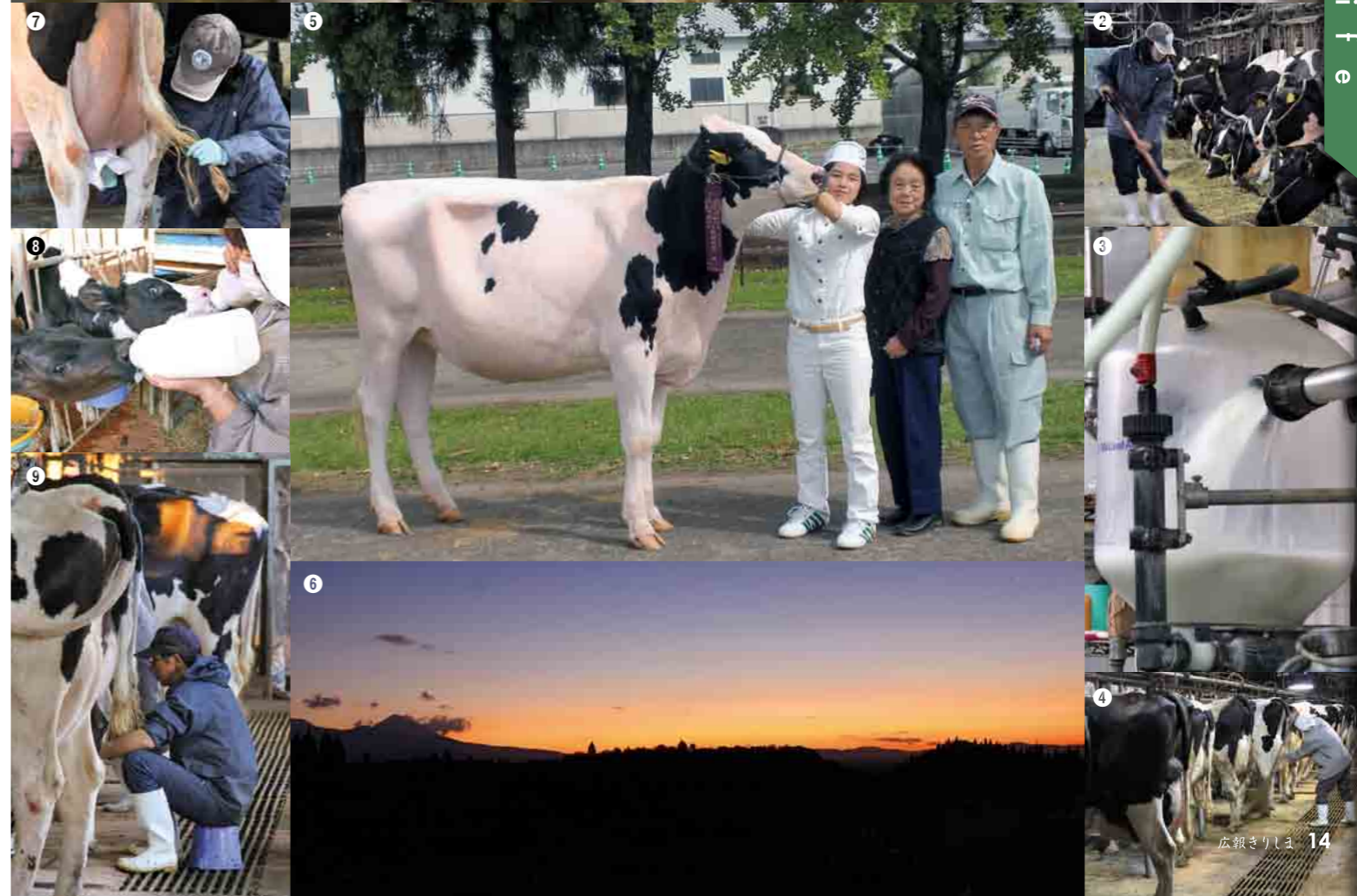
最勝寺秀美さん（62）

酪農家の家に育ち、市来農芸高校の畜産科を卒業後、酪農を始める。30歳で実家の最勝寺牧場を継ぎ、現在も良質な乳牛づくりに励んでいる。溝辺町三縄在住。

写真：最勝寺さん（中央）と妻の秀子さん（左）と従業員の野崎さん（右）



①牛のしっぽにブラシをかける最勝寺さん ②餌やりをする野崎さん ③搾乳機で搾られた乳がパイプラインを通して流れてくる様子 ④掃除をする秀子さん ⑤ホルスタイン共進会でグランドチャンピオンを受賞。右から最勝寺さん、母ハルノさん（88）、野崎さん ⑥最勝寺牧場から見える夜明け。作業は夜明け前から始まっている ⑦搾乳の準備をする野崎さん ⑧子牛に乳を与える秀子さん ⑨搾乳の準備をする最勝寺さん



INTERVIEW



横川中学校教諭

山尾次郎さん (44)

今年4月に感じたことをノートに書きました。「大粒の丸岡公園の桜のつばみのように今にも咲きそうな、爆発的な何かがおきそうな予感する。今年は今年のチームをつくれ」。その通りのことを子どもたちはやってくれました。このチームを支えてくれる保護者会の方、合宿所として公民館をお貸しいただける地域の皆さんに感謝しています。



黒木更治さん (65)
(横川町中ノ)

かわいい後輩たちが頑張っているのを見ると自分にできることをしてあげたくて、公民館に泊る夏合宿のときはシャワーがないので外にシャワーを取り付けたり、焼き肉のお肉を持って行ったりするのが楽しみなんです。駅伝チームの活躍は私たち横川の人々の励みになります。これからもみんなを応援していきたいと思っています。



横川中学3年生
立山沙綾佳さん (14)
女子駅伝チームキャプテン

優勝できてすごくうれしいです。1年生から3年生までみんなの絆は強く、エースはいないけどみんなの力を合わせて優勝できました。全国では鹿児島県の代表として他のチームに恥ずかしくない走りをしたいと思います。先生や保護者、そして地域の人たちの応援が力になりました。差し入れや応援に来てくれて感謝しています。私は横川が大好きです。

よう」という熱い思いが、ATGに向いているようです。
明るく、楽しく、元氣よく
発足した3年前に3位、昨年が2位、今年、念願の優勝を飾った女子駅伝チーム「ATG」は横川中の山尾次郎先生が指導者となって結成されました。「駅伝はみんなの力が一つにならないとできません。駅伝はまさにチーム競技」と山尾先生。
現在1年生2人、2年生4人、3年生6人の12人。「ATG」は、明るく、楽しく、元氣よくの頭文字。正式な部活動ではないため、練習は登校前の早朝7時から8時までの1時間、選手は集中して練

習に励みます。1周200メートルのトラックを同じタイムで走ったり、徐々にペースを上げていく走りをするなど練習方法は毎日違います。
練習が始まる前に選手たちは先生に「よろしくお願いします」と言ってお手紙をします。「握手するのはチーム発足と同時に保護者会を立ち上げた初代会長の東鶴芳一さん(52)の子はどうか悩んでいることはないかなど選手とのコミュニケーションを図ることが目的」と言います。
頑張ってる声に心える
体力とチームワークづくりを兼ねてATGは夏に1日で約30キロを走る2泊3日の合宿

をします。場所は横川の市街地から10分ほど離れた32世帯、49人が住み、ほとんどが60歳以上という上小脇自治会の公民館。
公民館の隣で一人暮らしをする佐野フユ子さん(77)は「こども昔はにぎやかでしたが今は子どもたちの声はしません。でも夏になり隣から中学生の明るい声が聞こえるとうれしい」と合宿を歓迎しています。地域の人も野菜などの差し入れなどをして応援します。
11月23日に優勝報告に訪れた選手たちを地元の人たち約20人が出迎えました。選手らは感謝を込めて一人一人と握手をし、地域の人からは「頑張ってるね」と励ましの言葉が返ってきます。小脇に住む立

山静香さん(72)は「ぜひ、全国大会では頑張ってもらいたい」と期待を寄せます。
ATGの夢は横川の夢へ
地域の未来は子どもたちが担っています。子どもたちが活動しやすい環境をつくるのは大人たちの役割。子どもたちはその期待に応えようと頑張ります。その頑張りが喜びに変わった時、地域が元気になるのです。ATGの夢は、今、横川地区全体の夢へと変わります。
全国大会は12月18日、山口県で開催されます。
選手たちが受け継ぐたすきには地域の思いが込められています。



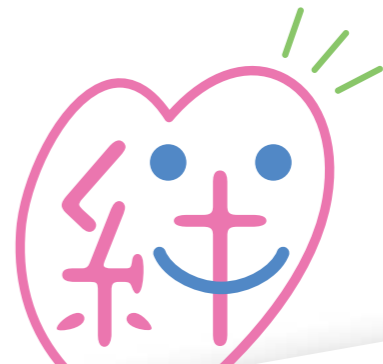
県大会で走り終えた選手の健闘をたたえ山尾先生



応援してくれる皆さん一人一人と握手をし、「頑張ってる」の声をかけられる選手たち



みんなの思いの詰まったたすきが最後の走者に手渡された



We are linked by a strong mind



2泊3日の合宿をする上小脇自治会の公民館前地域の皆さんへ優勝報告

横川中学校女子駅伝チーム「ATG」
地域のみんなに支えられ県大会優勝
**未来を走る
子どもたち、
たすきには
みんなの思い。**



チームの願いが込められた手作りミサンガを付けたシューズ

南薩路の海岸沿いを走る5区間12キロの折り返しコースで争われた県中学女子駅伝競走大会が11月11日、指宿市で開かれ、全校生徒146人の横川中学校の女子駅伝チーム「ATG」が初優勝しました。
この優勝には選手の方だけではなく、多くの人の熱い思いが込められていました。
駅が結ぶ絆
横川町は昭和28年に閉山した山ヶ野金山と明治36年に鉄道の開通により開業した大隅

郷土史への扉

一遍上人

大隅正八幡宮

激動の時代に神様から授かった信仰

踊り念仏の時宗を最初に始めたお坊さんに、一遍上人という人がいます。全国を歩いて信仰を広めたため、遊行上人ともいわれています。伊予国(今の愛媛県)で生まれ、全国の有力な寺社をめぐり、布教しています。その様子は『一遍上人絵伝』などで知ることができます。一遍上人は建治三(一二七七)年、大隅正八幡宮(鹿児島神宮)にもお参りをしています。当時、世情は騒然としていました。というのは、今の中国を支配していた蒙古(モンゴル帝国の一つ)元(げん)が日本に攻めてきた頃だったからです。その影響は全国に広がり、その後、何十年も続いています。一遍上人の信仰にも大きな影響を与えました。

蒙古襲来

元は攻める前から、六度も日本に従うように使者を派遣していますが、当時の鎌倉幕府は拒否し、使者を鎌倉で斬ったこともあります。そのため、博多湾への襲来に備えて、九州にいる御家人(幕府の由来)たちに命じ、石で海岸沿いに防御ラインを築いたり、異国警固番役を割り当てて警備を強化したりしました。今でも、博多湾の周辺には石塁が残っています。動員された鹿児島の人たちは、主に箱崎地区や西側の今津あたりを担当したようです。このような中、蒙古は、文永十一(一二七四)年には三万人、弘安四(一二八二)年には十五万人の大軍で博多に

攻めてきました。日本軍はそれまで見たこともない火薬を使った鉄砲や集団戦法に苦戦し、大宰府まで撤退を余儀なくされました。しかし、日本にとつては幸いなことに、二度とも風が吹きました。最初は博多湾沖、二度目は肥前国鷹島(長崎県松浦市)で、大風のため、元軍は多大な被害を受け撤退します。この時に吹いた風がやがて「神風」とされ、後の日本の思想に多大な影響を与えました。危機の時には、神風が吹いて日本を救うというのです。先の戦争でも「神風特攻隊」という名前に使われました。

幕府は勝利したお礼と神頼みで、盛んに全国の神社仏閣に蒙古撃退の祈祷会(敵国調伏)を開くように命令しています。大隅正八幡宮でも弘安八(一二八四)年など数回実施しています。



鷹島沖の水中遺跡から発掘された元軍のてつほう(鉄砲)

大隅正八幡宮での神託

一遍上人は、このように騒然とした時代に、大隅正八幡宮にお参りをしま

した。その時に、八幡神からの神託(お告げ)を受けたのです。『とことは南無阿弥陀仏となふれば、なもあみだぶにむまれこそすれ』



正八幡宮にお参りする一遍上人:「一遍上人絵伝」より

「いつまでも変わらずに南無阿弥陀仏を唱えれば、そのままあなたもきつと南無阿弥陀仏になりきつて、浄土に往生できる」という意味だとされています。

一遍上人にとって、同じように大変重要な悟りを得たのが、和歌山県にある熊野権現でした。一遍上人ゆかりの神奈川県藤沢市の遊行寺(清浄光寺)では、大隅正八幡宮は熊野権現とならんで、今でもとても大事にされています。激動の時代には、鎌倉新仏教と呼ばれる新しい宗教が誕生し、庶民に広がっていきます。鹿児島神宮もその一端を担っていたのです。

文責 重

EVENTS 環霧情報

祝! 日本ジオパーク認定



環霧島会議に

(仮称) 農林専門部会を新たに設置

霧島山を取り巻く鹿児島、宮崎両県の5市2町が連携する第9回環霧島会議が10月27日、国分シビックセンターで開かれました。会議ではシカの個体数の増加や口蹄疫などへの対策を強化するため、農村関係の新たな専門部会の設置を決定しました。その後環境省総合環境政策局環境影響評価課長、上杉哲郎氏の「霧島錦江湾国立公園(仮称)の魅力」の講演や霧島小学校・都城市立御池小学校の事例発表がありました。霧島小学校は「キリシマミドリシジミ」の採卵から放蝶までの学習の経過を写真を使って発表しました。



霧島小学校の事例発表

「霧島ジオパーク火山地形立体模型」霧島市役所に設置

霧島ジオパーク火山地形立体模型を10月31日に市役所国分庁舎一階ロビーに設置しました。これは、鹿児島県地域振興推進事業補助金を活用して作製したもので、韓国岳や高千穂峰など霧島山とその周辺の地形や霧島ジオパークへの理解を深め、より霧島ジオパークを身近に感じてもらうことを目的としています。模型本体は、縦2.2m、横1.9mで縮尺は3万分の1。模型手前にジオサイト(地質の見どころ)の紹介があり、ボタンを押すとランプが点灯し位置が確認でき、また霧島ジオパークの魅力を紹介したデジタル画像なども見ることができます。持ち運び可能な模型も作製したので今後、教育や防災へ役立てていきます。



模型のボタンを押す子どもたち

ジオパーク 発掘調査隊

今月は、小林市須木にある「須木の滝(ままこ滝)」を紹介しします。

小林市の北部にあたる須木地区には、照葉樹の森に抱かれた豊かな自然が数多く残されています。その中でも代表的な自然景観といえるのが「ままこ滝」です。

その昔、子を滝つぼに突き落とそうとした継母が、そのはずみで共に落ち込んでしまったという悲話から「ままこ滝」と名づけられました。この滝は、中生層の粘板岩上、加久藤カルデラからの火砕流(約34万年前)でできた溶結凝灰岩の柱状節理にそって五条に分かれた滝です。かつては落差41m、滝つぼの深さ22mという勇壮な姿を誇っていました。

その後、昭和33年に綾南ダムが完成したことで小野湖が出現し水面が上昇。落差こそ短くなったとはいえ、豊かな



大つり橋から見た「ままこ滝」

水をたたえる小野湖の湖面に、轟音とともに水しぶきをあげて落下する滝の姿はやはり絶景です。すきむらんど

すきむらんど

ままこ滝は、小林市を代表する観光地「すきむらんど」にあり、その雄姿は、小野湖にかかる大つり橋から見るることができます。この橋は、延長155m、幅員1.5mで、そこからの眺めは大迫力。また、すきむらんどは天然総ヒノキを使用した内湯や湿式サウナがある温泉施設「かじかの湯」、茅葺きの宿「栗の山里かるかや」などがあり、大自然の中で身も心も癒やされる観光施設となっています。

冬の節電で地球を守る

福島第1原発事故の影響により、九州電力では原子力発電所の運転再開を見合わせています。再開できない原発分の電力を補うため、ほかの発電所の電力確保に取り組んでいます。夏と同様、冬の電力不足が予想されています。

節電は電力不足のためだけではなく、地球温暖化を防止し、私たちの住む地球環境を守るために、一人一人ができることから取り組みましょう。

ご家庭での取り組み事例と効果

節電メニュー		通常エアコンを使用されるご家庭	通常ガス・石油ストーブなどを使用されるご家庭
エアコン	重ね着などして、室温20℃を心掛きましょう。	7%※1	—
	窓には厚手のカーテンを掛けましょう。	1%	—
照明	不要な照明をできるだけ消しましょう。	4%	6%
テレビ	画面の輝度を下げましょう。必要などき以外は消しましょう。	2%	3% ※2
冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「弱」に変えましょう。扉を開ける時間をできるだけ減らしましょう。食品を詰め込まないようにしましょう。	1%	2%
ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊きましょう。保温機能は使用せず、よく冷ましてから冷蔵庫に保存しましょう。	1%	2%
温水洗浄便座	便座保温・温水の設定を下げましょう。不使用時はふたを閉めましょう。	1%未満	1%
待機電力	リモコンではなく、本体の主電源を切りましょう。使わない機器はプラグを抜いておきましょう。	1%	2%

※1 設定温度を2℃下げた場合
※2 標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合

そのほかの取り組み事例

- エアコンのフィルターを定期的(2週間に1回程度)に掃除しましょう。
- 扇風機やサーキュレーターで部屋の上部の暖気を循環させましょう。
- 電気カーペットは人のいる部分だけを暖めましょう。
- 洗濯機の容量の80%を目安にまとめて洗いをしましょう。

〈注意すること〉

- ガスや石油を使うときは、窓を開けるなどして必ず換気しましょう。
- 洗濯物や布団などは、ストーブの近くに置かないようにしましょう。

出典：資源エネルギー庁

◎問=環境衛生課 ☎(64)0961

Tax

◎税務情報

相続人代表者の指定について

固定資産の所有者が亡くなった場合は、「相続人代表者指定申告書」の提出をお願いします。これは遺産相続が行われるまでの間、納税などの管理者を指定していただく届け出です。まだ提出されていない方は早めに届け出をお願いします。届け出がない場合は、相続人のうち、お一人を指定し納

事業をされている方へ 償却資産の申告について

事業を行っている方は、毎年1月1日現在の償却資産の状況を、その資産が所在する市町村へ申告しなければなりません。今年度申告された方には、

付書を送付することになりますので、あらかじめご了承ください。

※相続人代表者を変更する場合は「相続人代表者変更申告書」を提出してください。

償却資産とは

平成23年度の資産状況を記載した平成24年度の申告書を送付します。内容を確認の上、申告してください。新規事業者、もしくは初めて申告される方は、税務課から各総合支所地域振興課に申告書類を請求してください。会社や個人で事業をしている方が、その事業経営のために用いている土地・家屋以外の事業用資産をいいます。税務署への申告と市への申告との違い

税務署への申告は「所得税または法人税」の申告です。税務署で申告する減価償却資産は「減価償却費を必要経費」として計上するためのものです。それに対して市への申告は、償却資産が固定資産税の課税対象となっているため必要となります。法律で、税務署との申告とは別に市への償却資産の申告が義務付けられています。

● 提出書類 償却資産申告書(明細書を含む)、リース資産申告書
◎問=税務課固定資産税グループ ☎(64)0885、各総合支所地域振興課税務グループ

Core.yoka

◎コア・よか

市民サービスセンター「コアよか」のご案内

市民サービスセンター「コアよか」(国分パークプラザ2階)の窓口は、年末年始を除く毎日午前10時から午後7時まで開所しており、平日の夕方や土日・祝日にも多くの市民の皆さんに利用されています。お気軽にご利用ください。
※12月29日(木)から1月3日(火)までの間は休業となります。

◎市民サービスセンター窓口の取り扱い業務

① 証明書等発行業務	
住民基本台帳関係	住民票《全員・個人》
戸籍関係	全部事項証明(戸籍謄本)《現在戸籍のみ》 個人事項証明(戸籍抄本)《現在戸籍のみ》
印鑑登録関係	印鑑証明、印鑑登録申請(本人申請のみ)、新規カード発行(本人申請のみ)
税証明関係	市県民税 所得証明、課税証明、所得課税証明《個人・世帯》
	納税証明 市県民税、軽自動車税《車検用》、国保税《確定申告用》
② パスポート窓口業務	
申請から交付までは、土日・祝日・年末年始を除いて10日かかります。	
パスポートの申請	平日(月～金 ただし、祝日、振替休日、年末年始は除く) 午前10時～午後4時30分
パスポートの交付	毎日(年末年始を除く) 午前10時～午後7時
③ 税金などの収納業務	
納付書を持参いただいた方に限ります。サービスセンターでの納付書の再発行はできません。	
市県民税《普通徴収》、軽自動車税、固定資産税・都市計画税、国民健康保険税、介護保険料《普通徴収》、後期高齢者医療保険料《普通徴収》、保育料(保育所負担金)、養護老人ホーム入所者負担金(社会福祉費負担金)、市営住宅使用料、公共下水道受益者負担金、公立幼稚園保育料、交通災害共済掛金	
④ 国民年金	
年金相談を伴わない届け出について、受け付けします。	
国民年金の異動届などの受け付け 保険料免除申請の受け付け 障害年金連名簿に係る所得状況届受け付け	

※「鹿児島県収入証紙」も販売しています。(事前にご確認ください)

◎問=市民サービスセンター ☎(46)1337

Gender equality

◎男女共同参画

霧島市 男女共同参画フォーラム

男性も女性も全ての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分発揮できる社会、それが「男女共同参画社会」です。

男女共同参画社会の実現のために、一人一人がこのことについて考え、実際に行動していくことが大切です。男女共同参画を身近に考える機会とするため、「〜女と男が認め合い 支え合う 共に輝くまち〜」をテーマに男女共同参画フォーラムを開催します。

このフォーラムへの参加をきっかけに、身近なことから見直してみませんか。
●日時 11月22日(日) 午後2時～4時20分(午後1時30分開場)
●場所 国分シビックセンター2階多目的ホール
●インタビュータイム
●タイトル II 「参画カルタを作ったよ!」
●内容 II 県立単工人業高等学校校美術部の生徒が作成した「男女共同参画カルタ」を披露し、作成の経緯などについてインタビュー形式で答えます。
●司会 II 隼人草の根会
●出演 II 県立単工人業高等学校校美術部
●講師 II 坂東眞理子さん(昭和女子大学学長)
※主な著書に「女性の品格」、「男女共同参画社会へ」など

ど多数。
●演題 II 「力強く、そしてやさしく」品格ある社会の男性と女性」
●入場料 II 無料
●手話通訳 II あり



●託児 II 要事前申し込み(2歳児) 小学校2年生)
●定員 II 約300人
●申込方法 II 電話、メールまたはファクスで(申込用紙は市ホームページから取得できます)。
●申込締切 II 1月6日(金) 必着
◎問=企画政策課男女共同参画推進グループ ☎(45)5111(内線1541)、FAX(47)2522、メール kikaku@city-krishima.jp



市からのお知らせや募集などの情報をお届けします。

詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。

※**問**=問い合わせ先 **申**=申し込み先 **応**=応募先
※**健マ**=[健康マイレージ]対象の事業

お知らせ

新春市民のつどい

新しい年のスタートを共に祝い、初日をよう拝みましょう。どなたでも参加できます。(雨天中止)

- 日時=1月1日(日) 午前6時55分～7時40分
- 場所=城山公園(国分)
- 内容=太鼓演奏、小・中学生による一言リレー発表、初日のよう拝など

問=総務課市民運動推進室 ☎(64)0915

特定不妊治療費の助成金

市では、不妊に悩む夫婦の精神的・経済的負担の軽減を図るため、不妊治療を受けられた夫婦に対し、特定不妊治療費助成金を給付します。

- 対象となる不妊治療=配偶者間で行う医療保険が適用されない体外受精、顕微授精。
- 助成対象・要件=霧島市内に1年以上住所を有し法律上の婚姻をしている夫婦で、前年の所得合計額が730万円未満、市税などの未納がないこと。
- 助成額・期間=1組の夫婦の治療費から県助成額を差し引いた残りの額に対し、1年度当たり15万円を限度に通算5年間。

問=健康増進課 ☎(64)0905

公売(不動産)について

滞納処分の一環として市が差し押さえた不動産を換価するために公売を予定しています。不動産の所在などの詳細は、市役所(国分庁舎・隼人庁舎・各総合支所)の掲示板や市ホームページに掲載します。

- 公売方法=入札
- 日時=2月17日(金) 午後2時から
- 場所=国分公民館3階大会議室(国分シビックセンター内)

【公売物件】

- 所在地=横川町下ノ字荒巻1607番1外2筆
- 地積/地目=2,374平方[㎡](3筆計)/田
- 見積価額=624,000円
- 公売保証金=63,000円
- 必要書類=権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書(詳細については、市農業委員会事務局に問い

合わせください)

公売物件の買い受けを希望される方は、市役所に掲示してある「公売公告兼見積価額公告」や「公売のしおり」などで、物件の詳細を確認してください。

入札に参加する前に現地での公売物件の状況確認や所在地を管轄する登記所で登記簿を閲覧し、権利関係などの確認をしておくことをお勧めします。

※滞納市税などが完納された場合は公売を中止します。

問=収納課収納第3グループ ☎(64)0892

保有地を売却します

霧島市土地開発公社の保有地の売却を予定しています。詳しくは市の掲示板国分庁舎・隼人庁舎・各総合支所)か市ホームページをご覧ください。

【物件1】

- 所在地=国分府中宇崎田131番1
- 地積/地目=1,202平方[㎡]/雑種地
- 売却の方法=一般競争入札
- 日時=1月13日(金) 午前10時から
- 場所=土地開発公社(隼人庁舎前)会議室
- 申込期間=12月13日(火)～28日(水)

【物件2】(隼人ガーデンシティ用地)

- 所在地=隼人町小浜字上^{カミカいたに}谷4163番ほか48筆
- 地積/地目=203,868平方[㎡]/山林・原野
- 公募の方法=プロポーザル方式
- 応募資格=土地開発公社が別に定める条件を満たす法人。
- 申込期間=12月13日(火)～1月20日(金)

問=土地開発公社 ☎(42)2023

緑の募金カレンダーバザー展

全国の企業・団体から寄贈されたカレンダーのバザーを行います。売上金は全て「緑の募金」として霧島市みどり推進協議会に寄付します。

- 日時=12月17日(土)、18日(日) 午前10時～午後5時
- 場所=きりしま国分山形屋東側正面玄関

問=(公財)かごしまみどりの基金 ☎099(225)1426

募集

(仮称)霧島市男女共同参画推進条例(案)に対するご意見を募集

市では、男女共同参画の推進に関する基本理念などを定めた条例を制定する予定です。この条例案に対するご意見を募集します。ご意見は条例制定の参考とさせていただきます。

※ご意見に対する個別の回答はしません。

- 公表(意見受付)期間=12月12日(月)～1月11日(水) 必着
- 公表方法=市ホームページ、情報公開室(国分シビック

センター4階)、隼人地域振興課、各総合支所地域振興課、コア・よか、福山市民サービスセンター

●提出方法=閲覧場所での提出、郵送・ファクスでの提出、市ホームページで入力して提出。

問=企画政策課男女共同参画推進グループ

☎(64)0914、FAX(47)2522

市営住宅の入居者募集

国分・隼人地区の市営住宅(11月30日までに入居準備のできた部屋)の入居者を募集します。希望の方は申し込みください。

申し込みは団地ごとに受け付け(1世帯1住宅に限る)、申込多数の場合は抽選となります。

- 申込書の配布・受付期間=12月12日(月)～22日(木)
- 抽選日=1月11日(水)

※申し込みについては所得制限などの条件があります。※部屋の詳細は、市ホームページでご覧になるか、問い合わせください。

※特定公共賃貸住宅の名波ハイタウン4・7棟、牧園地区の高千穂団地、霧島地区の梅之木団地、福山地区の第2東牧之原団地の入居者は随時募集しています。希望の方は申し込みください。

問=建築住宅課住宅グループ ☎(64)0909

シェイプアップ教室

■第3回ステキにシェイプアップ教室

ゆっくり座ってできる「セルフマッサージ」とリズムにあわせた「有酸素運動」で、ぽっこりお腹をすっきりシェイプアップしましょう。

期 日	内 容
1/25(水)	初めてのセルフマッサージ(筋膜マッサージ)、小顔マッサージ
2/ 8(水)	肩こり解消、二の腕・脇腹シェイプアップ、バランスボールでバランストレーニング
2/22(水)	カロリーダウンのコツ(食事編)、足つぼマッサージ
3/ 9(金)	らくらく骨盤矯正方・股関節ストレッチ、ストレッチポールエクササイズ
3/21(水)	セルフマッサージ総集編、心と体の癒やし体験

- 時間=午前9時～11時30分
- 場所=すこやか保健センター
- 対象=40歳以上の女性で特に運動制限などがない方
- 定員=先着20人(申し込み多数の場合は、初めて申し込まれた方を優先)
- 申込期間=12月19日(月)～22日(木)

■男のシェイプアップ教室

～ウエスト-5cmプロジェクト～
6種類の「筋トレ(筋肉トレーニング)」で体をひきしめましょう。

- 期日=1月11日～3月21日(毎週水曜・全11回)
- 時間=午後6時～8時(最終受付=午後7時30分)
- 場所=すこやか保健センター

- 対象=40歳以上の男性で特に運動制限などがない方
- 種目=スクワット運動、チューブトレーニング、バランスボール、踏み台昇降、ダンベルトレーニング、腹筋運動

※6種目の筋トレを受付時間内の好きな時間に始めて好きな時間に終わります。健康運動指導士が随時、個別にアドバイスします。

※血圧・腹囲・体組成計測定(筋肉量・体脂肪など)、ストレッチ体操あり。

●定員=先着20人(申し込み多数の場合は、初めて申し込まれた方を優先)

●申込期間=12月19日(月)～22日(木)

申・問=すこやか保健センター ☎(42)1178

パソコン講座

203/60歳から始めるパソコン講座

- 期日=1月12日(木)、13日(金)
- 時間=午前9時30分～午後3時30分
- 会場=メディアセンター
- 定員/対象=20人/霧島市民
- 受講料=1,000円
- 申込方法=往復はがきに講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送。
- 申込締切=12月22日(木)(必着)
- 受講決定=はがきで通知(申込多数の場合は抽選)

申・問=メディアセンター ☎(64)0919、
〒899-4394国分中央三丁目45-1

「高校生のための就職面接会 in霧島」への参加事業所募集

平成24年3月高校卒業予定者のための就職面接会への参加事業所を募集しています。参加していただける事業所はご連絡ください。

- 面接会日時=1月20日(金) 午後1時～4時
- 場所=国分シビックセンター2階多目的ホール

問=国分公共職業安定所学卒担当 ☎(45)5311

サンあもり自主講座

講座名	日 時	開講日	定員
もっとキレイにスローフローヨガ	1～3月(毎週火曜) 19:00～20:30(全10回)	1/10(火)	21人
ハタヨガ～初級クラス～	1～3月(毎週水曜) 19:00～20:10(全10回)	1/11(水)	21人
太極拳	1～3月(毎週金曜) 14:00～15:30(全10回)	1/13(金)	20人
骨盤エクササイズ	1～3月(毎週月曜) 9:45～10:50(全10回)	1/16(月)	30人

※定員になり次第締め切ります。

- 受講料=4,000円
- 申込方法=直接または電話で。

申・問=サンあもり ☎(43)3373

8 9 9 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

霧島市役所
秘書広報課 行

(No.134/2011.12)

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 (_____) _____ - _____

おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの周りであった身近な出来事や話題など、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださった方の中からカット割引券を5人の方にプレゼント。応募締め切りは12月19日(月)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



シクラメン(サクラソウ科)

Readers Voice 読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



Community

か わい子孫がわが家から55日ぶりに、マンションへ帰って行った。玄関先での3人家族と惜別する情景では涙がうっすらとむせんで「また、おいでね」とかぼそい声で別れをかわすのが、一杯で帰る時の後ろ姿が何とも言えないわびしさ、さびしさ、悲しさが、一挙に私たちへと押し寄せてきた。つい今先までいたはずの親子の姿が急に遠のいて、そこにはぽっかりと寒々とした空間だけが取り残された。孫の成長も顕著でアーウーといつのまにか言葉を発するようになり、満面の笑みをたたえて、手足を

上下に力強く何回もバタバタと動かす行動、表情が可憐で実にいじらしい。人生の生きがい、活力源の源泉、誘い水ともなった。孫は「こんなにかわいいものか」と私どもにとっては初孫だけにその感激、感動はもとより心も癒やされ、童心にかえった純真さも手伝っている。今、孫はどうしているのかな、ふと案じながら日々の生活に英気をもらっている。(中山忠士73歳男性)

11 月6日、近くの小学校の学習発表会を初めて見学しました。席に座って間もなく子どもたちの熱気で年のせいもありますが目頭が潤んできました。元気な合唱、初めて聞く牧園の歌、私も一緒に歌いました。特に最後の6年生一人一人が自分の将来の夢を大きな声で聞かせてくれた時、この子どもたちが大きくなった時の日本は大丈夫だと思いました。それにこの様子を東日本人たちに見てもらったら、私自身がそうであったように元気をもらったのではないのでしょうか。(田原

10 月27日、第9回環霧島会議が開催され始めました。参考にしてください。

小 三の娘は本が好き。学校に来る移動図書館しるやま号では最高10冊まで借りることができる。決して近くない自宅までの道のり、娘はきっちり10冊(重い本ばかり)バッグに入れてうれしそうに帰ってくる。私も国分図書館で自分用に本を借りて来るのだが一番先にその本を読むのは娘。けっこう漢字も読めるようになり何でも読んでしまうので、うかつに変な本は借りられなくなった今日のこの頃です。(図書館最子! 42歳女性)

11 月下旬のこと。紅葉車を見に、霧島方面へまだポツポツ程度で色鮮やかな紅葉に出会うことはできませんでした。残念に思いながらついでに霧島神社に参拝するとちょうどほげ祭りをしていた。郷土芸能は雨で中止だったみたいですが、お祭り気分を味わえてよかったです。暖冬のせいでもしかしたら今年の紅葉は色づく前に枯れてしまうかもしれませんね。(林さん29歳女性)

市 民参加のミュージカル『ひかるの夏』龍馬からの伝言の公演が11月20日にありました。私は特攻隊員の役をやらせていただきました。自分としては舞台に参加させていたたくのが、実に15年振りと非常にプランクもあり「自分にできるのだろうか?」と正直思っていました。ですが、ほかの役者さんや子どもたちのミュージカルという「初めてのことに挑戦」する真摯な姿に勇気づけられ、気持ちだけは負けないようにと自分に言い聞かせ何とか公演を終えることができました。参加した一人一人の力のおかげだと思っています。今回この公演に参加できてよかったと、心より感謝しております。「霧島最高ミュージカル最高!」(よこちゃん44歳男性)

行 ってきました「全国お茶まつり」心配していた天気も回復。今、話題の「S・1グランプリ」どの地区もとてもおいしかったです。一番心に残ったのは「百円茶屋」でした。お茶コーディネーターの方からお茶の入れ方を教えていただきながら飲んだお茶はとてもおいしく日頃お茶を飲まない息子が「おいしい」と笑顔で飲んでいました。来年もあるといいなあ。(なんちゃん48歳女性)



携帯電話からも、霧島市の情報をご覧ください。パソコンをお持ちでないかたも、インターネット接続可能な携帯電話を利用して、霧島市ホームページの情報の一部を検索できます。

◎人口 / 127,880人(+44)
男性 / 61,498人(+36)
女性 / 66,382人(+8)
出生122人 / 死亡112人
転入318人 / 転出282人
◎世帯数 / 58,295世帯(+29)
(平成23年11月1日現在)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

12 PRESENTS

お便りをくださった方の中から 県理容生活衛生同業組合 霧島支部のカット割引券を プレゼントします

霧島支部理容組合では、お客さまへ安心・安全で確かな技術を提供するため、講習会・勉強会に積極的に取り組んでいます。今後とも組合加盟店では親切・丁寧で、より高い技術とサービスを提供していきますので、お客さまの身近なヘアアドバイザーとして組合加盟店をどうぞご利用ください。また、加盟店も併せて募集しています。



◎問い合わせ先=霧島支部理容組合
☎(45) 1479
<http://www.riyo-k.com/kirishima/>

※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報聴グループ☎(64) 0955 までご連絡ください。

今月の表紙



福山町宮浦宮の境内に並び立つ2本のイチヨウ。高さは38mを超え、樹齢は共に1000年以上といわれています。毎年、12月上旬ごろには色づき、落ちたイチヨウの葉が黄色のじゅうたんを敷きつめたかのように境内を彩ります。その様子を見ようと、毎年この時期には、多くの見物客が訪れる人気の観光スポット。長年守られてきた風情ある景色をお楽しみください。

【撮影データ】
デジタルカメラ レンズ18～200mm
F3.5～5.6 1/160 F7.1 ISO400

福山のイチヨウ
昨年12月上旬撮影

中 学生の息子の部活の忘年会。司会を頼まれたのでせんえつながらやった。あいさつで子どもたちにお父さん、お母さんの口癖というタイトルで話してもらった。すると「いつまで寝てるの」「もう7時よ」「あんた本気で勉強する気あんの」どこか家庭も似たようなものだ(た)

最 勝守牧場の朝の仕事に密着取材。午前6時に訪問。すでに作業は始まっている。かなり冷え込むなか次々に仕事をこなす3人。寒い。眠いとぼやいていた私も初めて見る牛の表情や搾乳風景にいつしか目を奪われていた。風邪をひいてしまったけど牛乳飲んで頑張ろう(う)

横 川中駅伝チームが県中学女子駅伝で優勝。お世話になった上小脇地区で優勝報告を行い、たくさんの地域住民が駆け付けた。選手が一人一人と握手をする姿を見て強い絆を感じた。そして、選手たちは私にも握手をしてくれた。30歳ドキドキ。全国大会、きばれ～(は)

今 年も残り1か月弱。年が明けると成人式、出初め式と取材の日々。そんな中、楽しみにしているのが各地で行われる鬼火焚き。振る舞われるぜんざいやお餅が最高においしい。地域の思いがこもっているんでしょね。来年も、皆さんとの出会いを楽しみにしています(み)

市長コラム 前田終止

人材こそ地域の防災力

県道都城隼人線の国分重久地区が1年4か月ぶりに開通。昨年の7月3日、崩落寸前の道路に取り残された車から尊い人命を救助した消防隊の活躍は多くの方から賞賛されました。また先ほど開催された京セラ工場の運動会であった職対抗リレーでは、自衛隊など並み居る強豪相手に接戦を制し、消防局チームが2連覇を果たしました。11月6日の市消防局「防災フェスタinきりしま2011」では、婦人防火協力会や消防団など多くのボランティアスタッフが消火訓練など体験イベントの運営に活躍されていました。イベントの予算はゼロ。イベントを支える関係者の防災意識への強い情熱で運営されていることに毎回ながら感銘を受けました。救助訓練の披露では、鍛えあげられた消防隊員たちの美演に、子どもたちから羨望のまなざしが向けられ、観客からは「カッコイイ」と歓声がおこります。優れた資機材はもとより、高い能力を持った本市の消防職員や消防団員の皆さまが地域の防災力となる安心・安全の要です。

随ずいそう想

蛭児神社の巨木



ビバ(万歳)!霧島

◎森 寿恵子

夕暮れ、ほの暗い空に浮かぶ飛行機の明かりに、東京へ帰りたい。山形に帰りたいと一人涙を流していた。今ではそんな殊勝な昔があったのと、からかわれるくらい、浜之市(単人町)になじんでしまいました。

ば夫の家族だけ。不安と寂しさと言葉も分らない毎日の中で長女の小学校PTA役員、婦人会役員と任事が回ってききました。生来の人見知り人間関係が苦手。そんな私でも近所付き合いを逃げられるわけもなく。それでもさまざままな人の輪の中で慰められたり、励まされたりしているうちに夕暮れ時、空を仰ぎ見ることもいつしかなくなっていました。鹿児島人は、近寄ってきてはくれませんが、こちらが困った様子を見せると、

とことん親切。単人に来て間もないころ、道を尋ねると何度も聞き返す私に、言葉が分からないと思われたのか目的地までついてきてくださった方がいて感動しました。帰郷して12年前くらい過ぎた頃、旧単人町主催の男女共同参画セミナーに参加したときに誘われた「ウイメンズ単人(人口の悪い親友はオンドリス単人じゃないのという)メンバーになって私のカラーが変わりました。もともと素地はあったと仲間が言いますが…。

平成9年から初午祭の日にもうひとつのお祭りとして開催してきた「手作り馬コンテスト」15回続けてきましたが、気力、体力、資金も底をついた今年2月で最後にしました。人通りの少なかった単人駅からの道も、祭り当日はたくさんの人でにぎわうようになっていたので少し残念です。

現在は次の企画検討中のウイメンズ単人と並行して、男女共同参画社会推進のために活動している「草の根会」というグループにも入っています。こちらも女性だけの会です。昨年、文字カードを自分たちで作作り、絵を単人工業の生徒さんをお願いしたところ、若い感性で素晴らしいカルタを作ってくださいました。そのカルタをコピーして、出前講座を市と連携して行っています。カルタを作成するときには、市民活動支援グループから、いろいろと情報をいただきました。良い意味で共生協働ですね。この講座は私の「生きる」ことを楽しんでくれま

Profile



もり すえこ (60)
山形県新庄市生まれ。結婚前から住み慣れた東京を離れ昭和60年、夫の故郷の単人へ移住。子育てを通してPTAや町づくり、自分育てに意識が向いていく。夫の鍼灸院(平振堂)を手伝う傍らアロマセラピーをしている。3つのまちづくり団体と趣味の洋裁・ソーシャルダンスと、楽しく毎日を送っている。